

# エコールKOBEdaより

発行 福祉事業型「専攻科」エコールKOBEda NO. 2

今年度も1年生が入学して2カ月が経ちました。1年生もすっかり学園生活にとけこみ、学園生活を楽しんでいるようです。学生自治会の役員も決まり、学生たちが自分たちでいろいろなことを取り組む体制もできました。気候がよい良いこの季節、エコールスポーツ大会、野外活動、そして神戸市障害者スポーツ大会など学生たちは活発に活動を繰り広げています。

## 学生自治会役員が決まりました！

～今年はどうな取り組みをするのか楽しみです～

5月1日に学生自治会選挙が行われ新役員6名(会長1人、副会長1人、書記1人、風紀委員2人、会計2人)が選ばれました。これまで学生自治会は、普段の野外活動や土曜日登校の企画のみならず、「WAPふれあいまつり」や「エコールフェスティバル」など大きな行事でも主体的に取り組んできました。また、地域の清掃活動や公衆マナーの学習などいろいろな方面にも挑戦しています。学生たちが自ら運営するこの学生自治会、今年もどんなことに取り組んでいくか楽しみです。

## エコールスポーツ大会(5/8)

～新種目にぞうきんリレー、卓球～

今年も西代の県立文化体育館でエコールスポーツ大会が行われました。学生たちが考えた競技種目、今年は「ぞうきんリレー」「卓球」が新たな競技として加わりました。最終種目は「学年対抗綱引き」で盛り上がりました。

# 神戸市障害者スポーツ大会(5/24、31)

～みんながんばりました～

今年の神戸市障害者のスポーツ大会は、陸上競技(24日)に10名、水泳競技(31日)に4名が参加しました。陸上競技では、金メダル1個、銀メダル2個、銅メダル1個の計4個、水泳大会では、金メダル2個、銀メダル1個合計3のメダルを獲得しました。

## 「働くこと」についての学習(5/28)

卒業まであと10か月、2年生は進路に向けた取り組みが本格化します。5月28日には、「みちしるべ神戸」本部長の小鷹智さんを講師にお招きして「働くってなに？」の学習会がありました。小鷹さんは、講演の中で「働くことはお金をもらうためということはもちろんだけど、社会に役立つ存在になること、人として成長できることです」と話され、「いろんな人の話をよく聞いて自分で(進路を)決めてほしい。笑顔になれる日が増えることを願っています。」と結ばれました。学生たちはこの話を聞いて「働くことは人の“ありがとう”が聞けること、人の役に立ったり必要だと思われることということがわかった」「働くということがどんなものかよくわかったし、これから(自分も)考えていかなければなりません。なによりも就職している人がうれしそう。僕もこんな風になりたいです。がんばります。」「みちしるべ神戸で働きたいな。」などの感想を述べていました。「みちしるべ神戸」には、現在3人のエコール KOBE の卒業生が在籍しており、1人は「みちしるべ神戸」から就職しています。エコールでの今後進路にむけた取り組みは、会社見学や体験実習と続きますが、学生たちひとりひとりがしっかり自分自身で決めていってほしいと思います。